

公表

事業所における自己評価総括表 (放課後等デイサービス)

○事業所名	介護支援センターながさき デイリハ・ステーション福田		
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2008年2月4日		～ 2008年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 13人
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 20 日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高齢者向けのリハビリや物療機器が充実している。集団活動を通してコミュニケーションが図れる。	高齢者と共有することでより広い知識や趣味活動ができる。	四季を通してイベントを行い他者との関りが出来る。
2	専門職がいることで体調の変化に速やかに気付くことが出来る。また、専門的なリハビリのアドバイスが受けられる。	体調不良がある場合、ご家族などの連携が速やかに図れる。	体調不良がある場合速やかに対応できる。
3	体力維持に必要な物療がある。	個別に合わせた機能訓練ができる。	専門職の配置があり相談できる環境がある。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	高齢者メインのため、出来ることやできないことが分かれる。	児童を対象とした専門知識をもった職員がいない	専門知識をもった職員の雇用、研修
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果 (放課後等デイサービス)

事業所名		介護支援センターながさき デイリハ・ステーション福田				公表日	令和8年3月5日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準に適している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		廊下、浴室、トイレないし手すりを設置し適切な環境を整えている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		高齢者施設のため児童に合わせた環境とは多少異なるが、清潔で気持ちよく過ごせる空間は整えている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		適切な場所の確保はある		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月1回の部署会議を通じて、業務改善内容は検討している。また、各自のPDCAは毎月振り返りができるような仕組みを作っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見を聞く体制はあるが該当者がいない		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月1回の部署会議で業務改善の内容を検討している		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		年1回のアンケートを実施し、掲示を行い公表している		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修、自主研修など社内の研修システムは構築されている		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○	該当者はいないが支援計画書作成ができる環境はある		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○	該当者がいない		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○	該当者がいない		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	該当者がいない		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○	該当者がいない		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	該当者がいない		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○	該当者がいない		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	該当者がいない	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	該当者はいないが朝礼で情報共有はできる	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	該当者はいないが終礼で情報共有はできる	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	該当者がいない	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	該当者がいない	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○	該当者がいない	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	体制は整えているが該当者がいない	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	体制は整えているが該当者がいない	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	該当者がいない	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	該当者がいない	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	該当者がいない	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	該当者がいない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	該当者がいない	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	該当者がいない	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	該当者がいない	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	該当者がいない	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	該当者がいない	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	該当者がいない	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	該当者がいない	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	該当者がいない	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	該当者がいない	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	該当者がいない	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	該当者がいない	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	該当者がいない	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	該当者がいない	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	該当者がいない	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	該当者はいないがマニュアル策定、訓練の実施は行っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	BCPの策定を行い、非常災害時の発生に備え年間を通じて計画を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	BCPの策定を行い、非常災害時の発生に備え年間を通じて計画を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	該当者がいない	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	該当者がいない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	該当者がいない	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	該当者がいない	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	該当者がいない	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止のため適切な支援を行う研修を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	身体拘束は行っていない。契約時に説明を行うようにしているが、該当者がいない	